

ダイヤモンド就活ナビ2017 就職モニターレポート 3月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2017年3月卒業予定の大学院・大学 学生
- ◆有効回答 974名
- ◆調査期間 2016年3月17日（木）～2016年3月24日（木）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	715名 (73.4%)	理系	259名 (26.6%)
----	-----------------	----	-----------------

【回答の多かった学生】

早稲田大学、明治大学、慶應義塾大学、法政大学、日本大学、中央大学、明治学院大学、関西大学、北海学園大学、近畿大学、関西学院大学、関西外国語大学、専修大学、愛知大学、中京大学、京都大学、国士舘大学、東京大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	87名	8.9%
東北エリア	20名	2.1%
関東エリア	428名	43.9%
甲信越エリア	18名	1.8%
東海・北陸エリア	118名	12.1%
関西エリア	196名	20.1%
中国・四国エリア	71名	7.3%
九州・沖縄エリア	36名	3.7%

◆TOPICS◆

選考開始2ヶ月前倒しの影響か、選考フェーズは昨年よりも早め

<就職活動進行状況>

「筆記・適性テスト」は4割、一次面接は4人に1人が受験
昨年よりもやや前倒しで推移

<学生の企業選択のポイント>

トップは「少しでも興味があれば全てエントリー」の36.9%
平均エントリー社数は、33.7社と16卒平均より減少

<セミナー参加平均数>

個別企業セミナー：5.7社 / 就職情報会社のセミナー：4.2回
キャリアセンター主催のセミナー：4.9回

<就職環境の感想/悩み(不安)>

約7割が「苦戦するかも」「悲観的」と回答
「エントリーシートが書けない」と悩む割合が16卒同時期調査より増

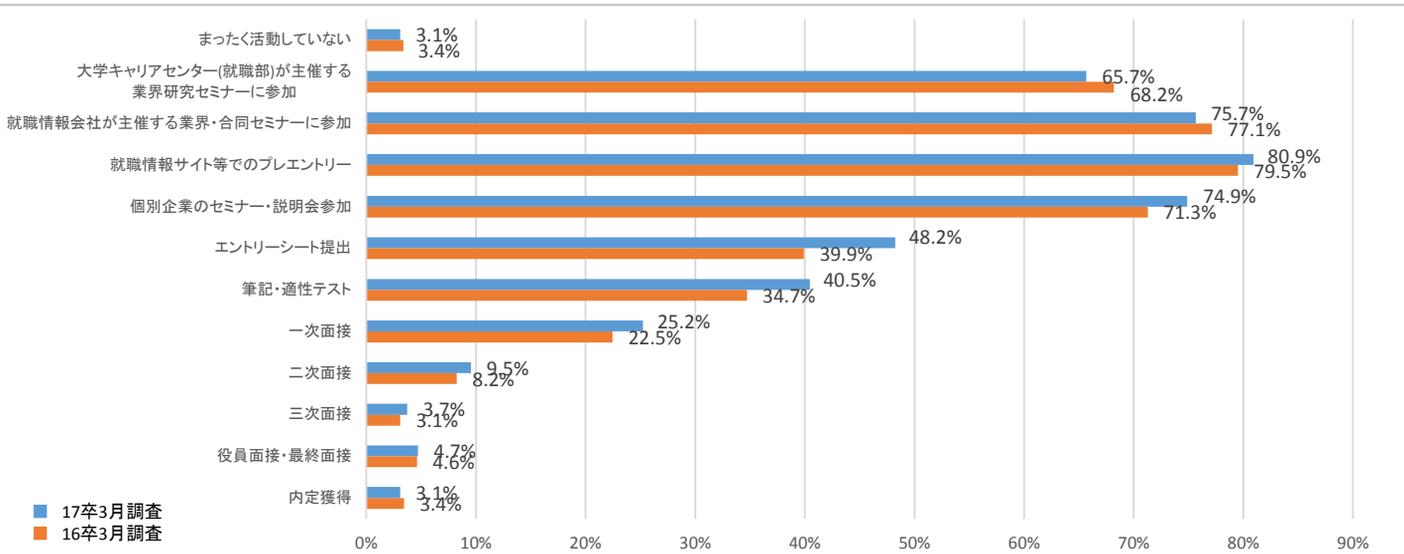
【本調査に関するお問い合わせ】



株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

新卒メディア事業局 首都圏営業部
TEL (部門代表) : 03-5511-1072
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

◆就職活動の進行状況は？（複数選択可）



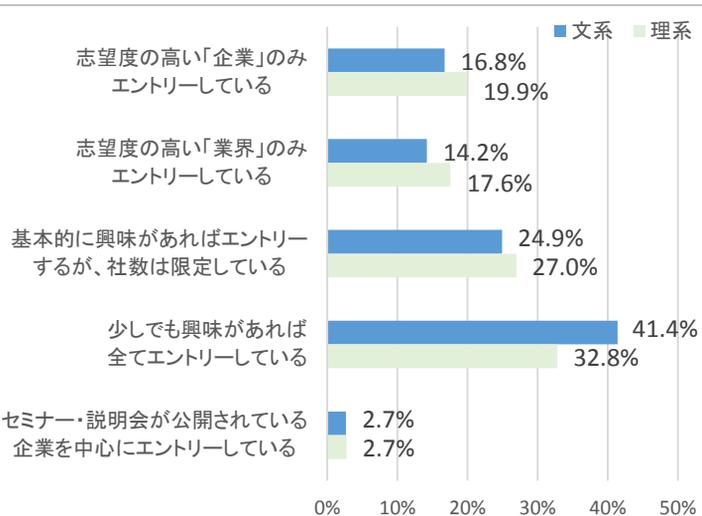
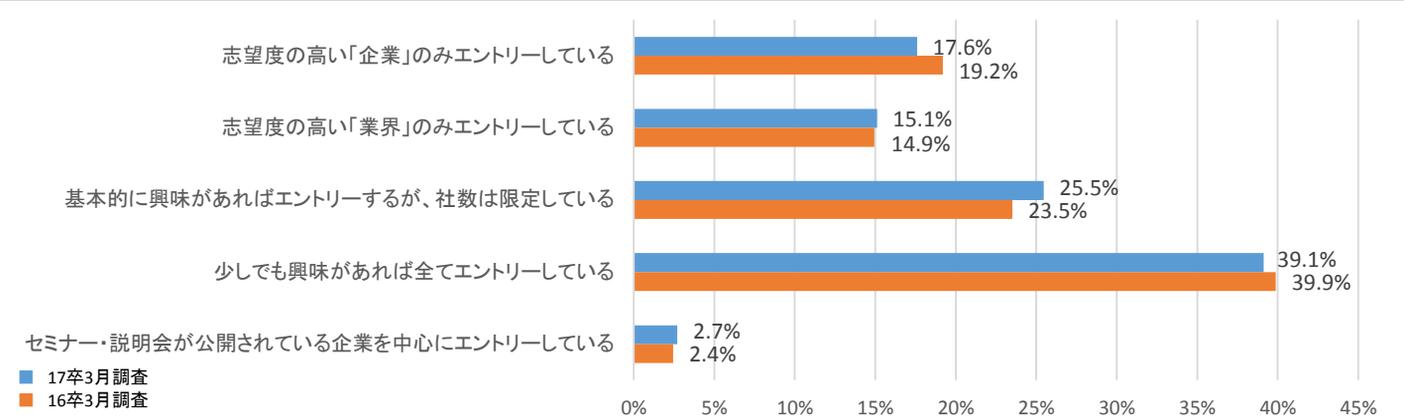
**「筆記・適性テスト」は4割、一次面接は4人に1人が受験
昨年よりもやや前倒しで推移**

学生の就活進行状況は「就職情報サイト等でのプレエントリー」が80.9%と多数を占めた。「就職情報会社が主催する業界・合同セミナーに参加」が75.7%で次点につけているが、74.9%の「個別企業のセミナー・説明会参加」と拮抗している。

「大学・キャリアセンターが主催する業界研究セミナーに参加」（16卒：68.2%→17卒：65.7%）「就職情報会社が主催する業界・合同セミナーに参加」（77.1%→75.7%）がそれぞれ微減しており、代わりに「個別企業のセミナー・説明会参加」（71.3%→74.9%）が微増している。

「エントリーシート提出」は8.3ポイント、「筆記・適性テスト」は5.8ポイント、「面接」もそれぞれ16卒よりも増加しており、昨年よりも選考を早めている様子だ。今後の進行状況に引き続き注目したい。

◆企業にエントリーする際の基準

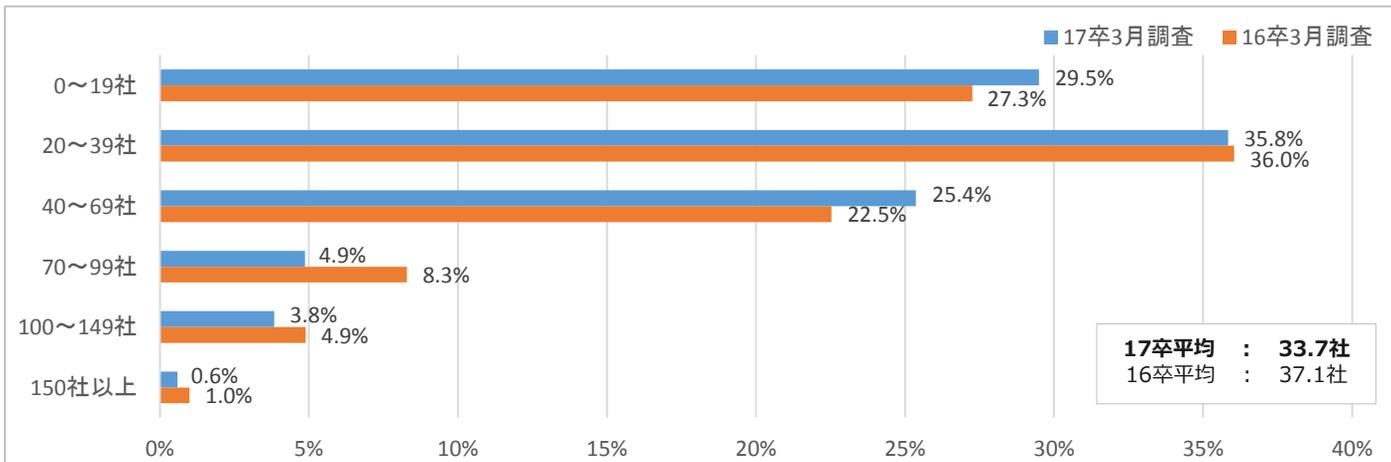


**「少しでも興味があれば全て」が39.1%と多数
理系学生はエントリーを絞り込んでいる様子**

一番シェアが高かったのは39.1%の「少しでも興味があれば全て」で多数を占めた反面、15卒調査：40.7%、16卒調査：39.9%と比較すると年々微減の結果となっている。次いで高かったのは「基本的に興味があれば（但し社数は限定）」で、25.5%と、昨年よりも2ポイント増の結果となった。

文理比較では、「志望度の高い『企業・業界』のみエントリー」と答えた文系学生が31.0%、理系学生が37.5%と、理系が文系を6.5ポイント上回り、より絞り込んでエントリーを進めている状況がうかがえる。

◆就職サイトなどから、現在までにエントリーした企業は何社ですか？

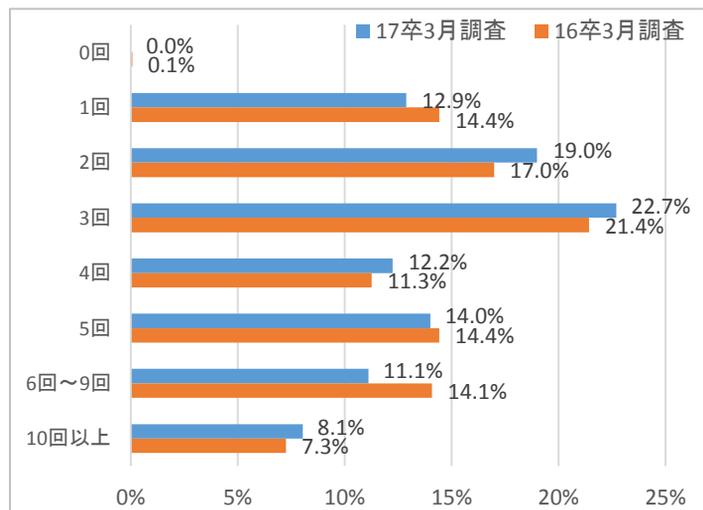
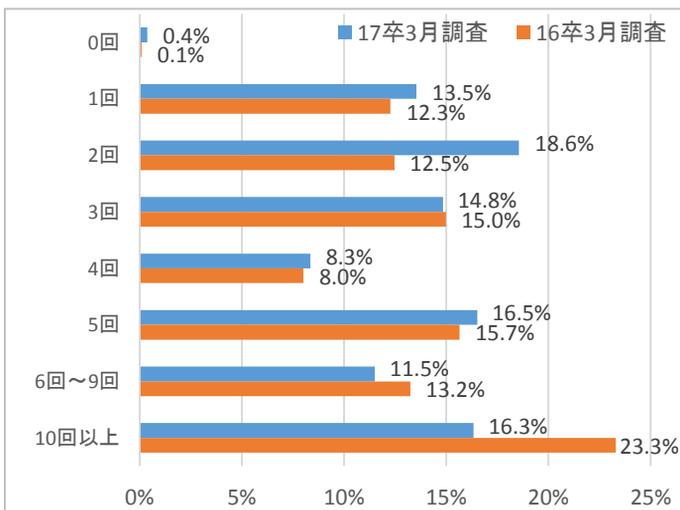


学生1人当たりの平均エントリー企業・・・33.7社 (16卒3月調査比：▲3.4社)
半数以上が「40社未満」と回答

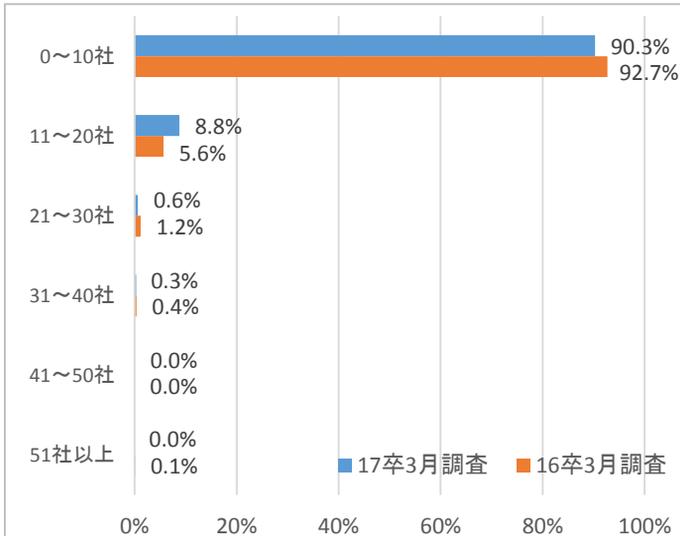
学生一人当たりの平均エントリー社数は33.7社と、昨年同時期調査の37.1社から、3.4社減の結果となった。

エントリー社数のトップは「20~39社」の35.8%、2位は「0~19社」の29.5%。40社未満のエントリー学生は65.3%と半数以上を占めた。「40~69社」が昨年より2.9ポイント伸ばしたものの、16卒で14.2%いた「70社以上」の層は、17卒では9.3%と、より一層少数となった。

◆【学内】キャリアセンターが主催するセミナー参加回数 ◆【学外】就職情報会社が主催する合同セミナー参加回数



◆個別企業が主催するセミナー参加社数



◆学内合同セミナー
17卒3月調査
・・・平均4.9回
16卒3月調査
・・・平均6.2回

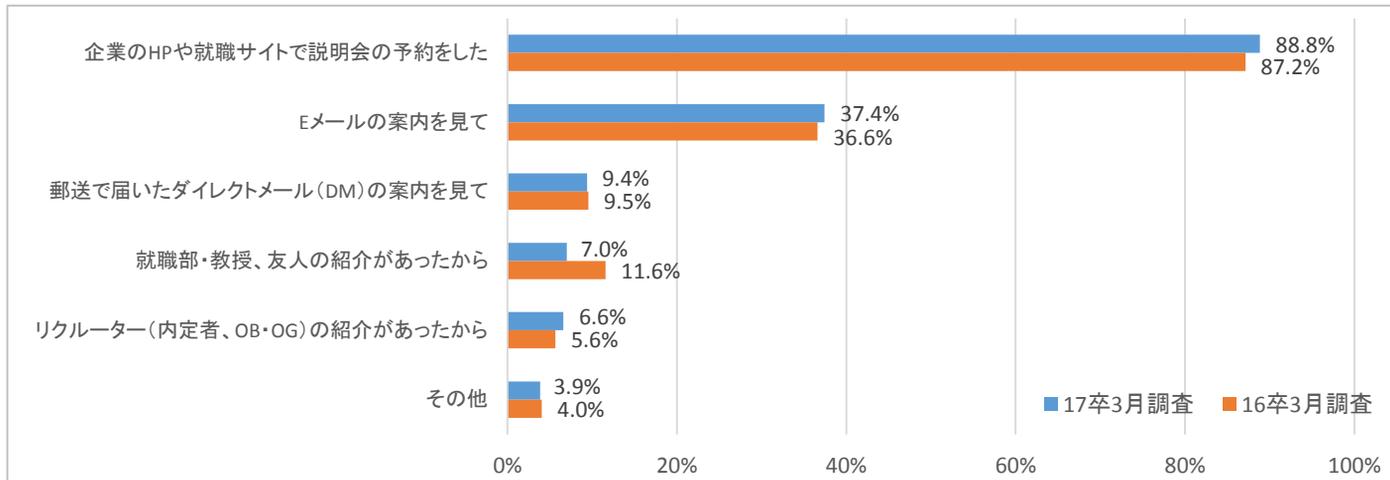
◆学外合同セミナー
17卒3月調査
・・・平均4.2回
16卒3月調査
・・・平均4.4回

◆個別企業セミナー
17卒3月調査
・・・平均5.7社
16卒3月調査
・・・平均5.0社

個別企業の平均セミナー参加は5.7社と前年比増

学内セミナーの参加回数は▲1.3回、学外セミナーでは▲0.2回と平均参加回数が減少している中、個別企業セミナーは16卒：平均5.0社→17卒：5.7社と0.7社増の結果となった。各社の積極的なセミナーの開催が、この結果につながったと思われる。

◆個別企業のセミナー・説明会に参加するきっかけは何ですか？（複数回答可）

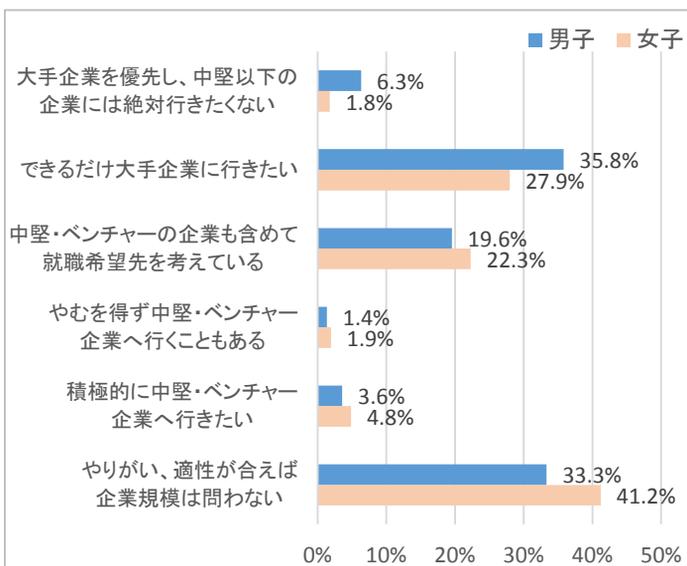
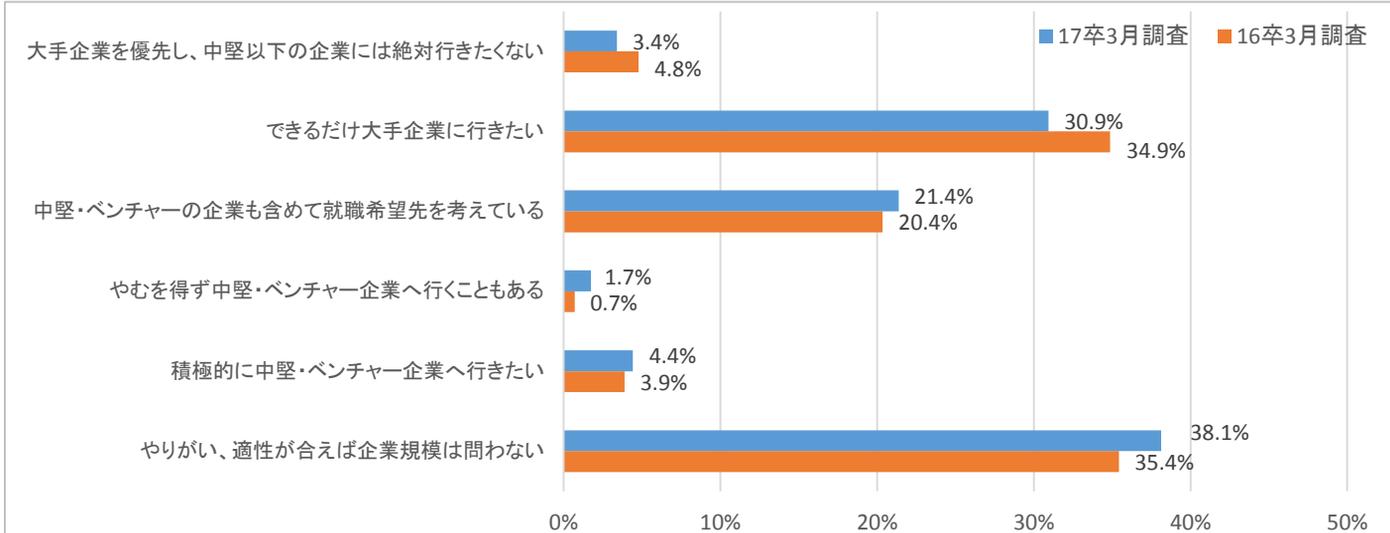


**参加きっかけの第1位は「企業のHPや就職サイト」：88.8%
「就職部・教授、友人の紹介」は1割を下回る**

セミナー・説明会への参加きっかけは「企業のHPや就職サイト」が88.8%と圧倒的多数を占めた。ついで「Eメールの案内を見て」が37.4%となっており、傾向は昨年と大きく変わらない。

「就職部・教授、友人の紹介」が16卒の11.6%から17卒では7.0%と減少している。

◆企業選択の基準を教えてください



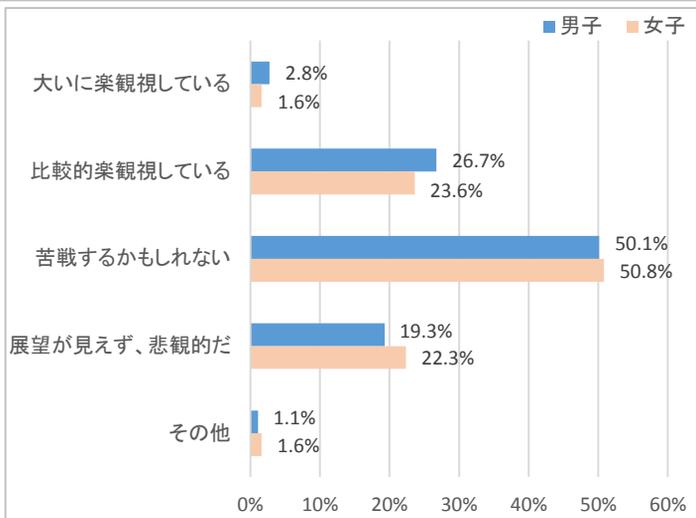
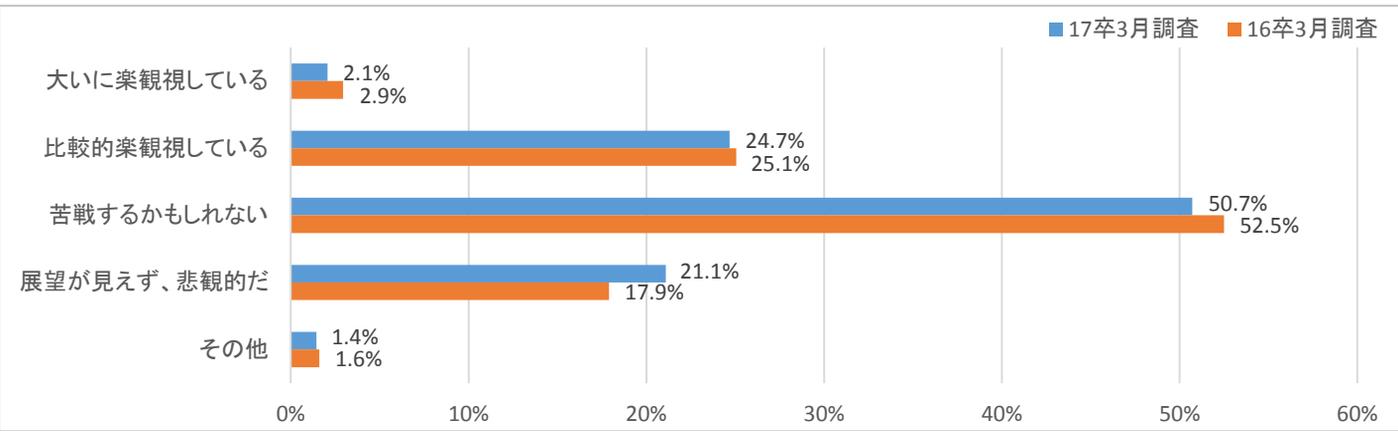
**トップは「やりがい、適性が合えば規模不問」
「絶対大手・できるだけ大手」は3割に留まる**

「やりがい、適性が合えば規模は不問」が38.1%と16卒より2.7ポイント伸ばし、トップとなった。2位は30.9%の「できるだけ大手」。16卒と順位は変わらないものの、その差0.5ポイントのみと拮抗していたが、今年は7.2ポイントの差をつける結果となった。

「絶対大手」「できるだけ大手」は34.3%と、16卒の39.7%から若干減少した。

男女別にみると、男子のトップは35.8%の「できるだけ大手」、女子は41.2%の「やりがい、適性が合えば不問」となった。男子はより強い大手志向がみられ、男女間の意識の差を感じさせられる。

◆今年の就職環境について、どのような感想をお持ちですか？



「苦戦するかも」「悲観的」が71.8%に
「楽観視」派は16卒より減少

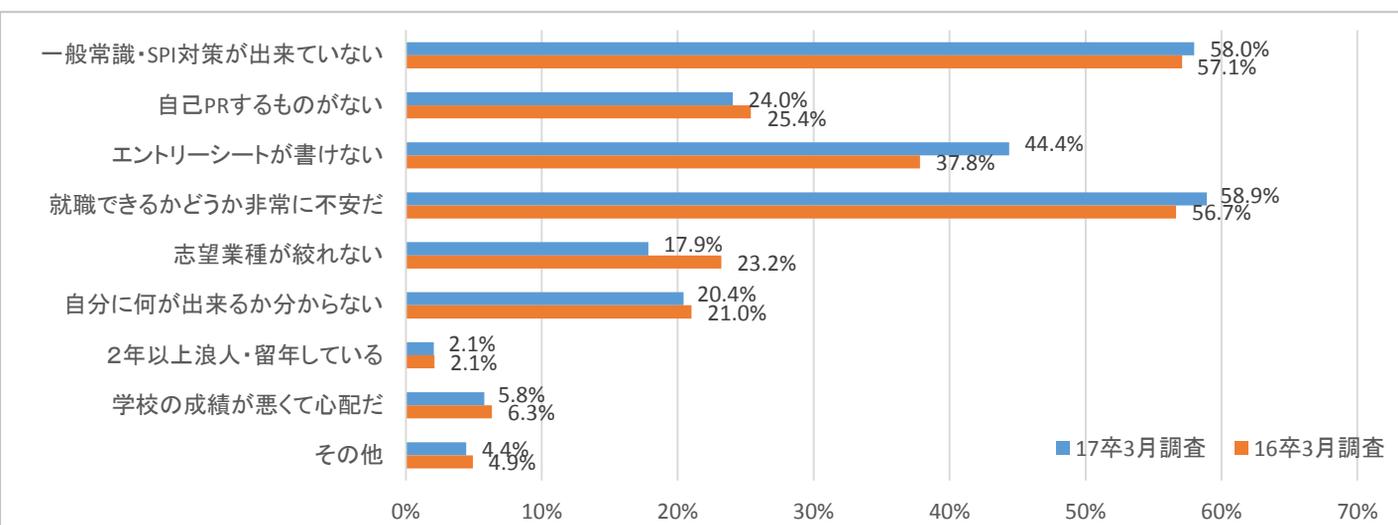
トップは「苦戦するかもしれない」の50.7%で、半数を占める結果となった。「展望が見えず悲観的」（21.1%）と合わせると71.8%にのぼる。

逆に「大いに楽観視」「比較的楽観視」していると答えたのは26.8%と、16卒の28.0%より1.2ポイント減となった。

大卒採用人数は10%増等と、学生優位の環境ではあるものの、それだけでは個々人の就職への不安はぬぐいきれない印象だ。

男女別では、男子の方が若干ではあるが楽観視している傾向が見られた。

◆今抱えている悩み（不安）は何ですか？（複数選択）



「就職できるかどうか」「一般常識・SPI対策」で過半数の学生が不安を抱える
「エントリーシートが書けない」が16卒より6.6ポイント増

「就職できるかどうか非常に不安」が58.9%、「一般常識・SPI対策ができていない」が58.0%と2大悩み（不安）の結果となった。それぞれ16卒時よりもポイントを伸ばしている。

次点に「エントリーシート（ES）が書けない」（44.4%）がつけており、16卒より6.6ポイント伸ばした。選考開始時期の前倒しに伴いES締切が早まっている影響か、ES記入の悩みに直面している学生が増えていると思われる。

逆にポイントを下げたのは「志望業種が絞れない」の17.9%で、16卒の23.2%より5.3ポイント減の結果となった。「自分に何が出来るかわからない」も微減している。